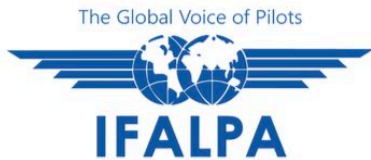


IFALPA Safety Bulletin 「バンコク スワンナプーム国際空港」



SAFETY BULLETIN

21SAB11
02 June 2021

誘導路・エプロンにおける「Soft Spot」に注意！！

注 : この Safety Bulletin は 19SAB14 に代わるものです

概要

バンコク・スワンナプーム国際空港 (VTBS) において、誘導路やエプロンで発生している柔らかいアスファルト、所謂「Soft Spot」の注意喚起を促す IATA Operational Notice 02/2021 が発行されました。

当空港は、沼地だった場所を埋め立てて 2006 年に開港しました。その地形の特徴から、降雨などによる水分が滞留しやすく、舗装に使用されているアスファルトが柔らかくなる現象が発生しています。こうした「Soft Spot」現象は、2008 年頃以降、多く報告されており、空港管理者による補修改善が適宜実施されていますが、抜本的な改善は進んでいません。

IATA Operation Note

タイ空港当局によると、舗装面が柔らかくなる主な原因は、建設時に使用されたアスファルト物質の影響や、空港の地中にある水分の高低によるものと考えられています。これらがもとで舗装面の「Soft Spot」現象が発生し、その結果、予定の舗装寿命を下回る補修工事が頻繁に必要となっているのが現状のようです。

このような現状を踏まえ、タイ空港当局は、次のような短期的な対応策を発表しています。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">a) 一時的もしくは半永久的な舗装修理b) 運航への障害を最小化するため、緊急補修チームを 24 時間体制で準備する |
|---|

タイ空港当局は、2021 年第三四半期までに半永久的な誘導路の補修を完了すること、さらに永久補修工事を同年第四四半期に計画しているそうです。

各航空会社は、以下について、状況に応じた対応が求められています。

- パイロットは、同空港での Push Back や Taxi 時、その他の運航において、リスクを軽減させる手段を講じるように努めること
- 「Soft Spot」に関連する事象が生じた場合は、直ちに管制機関へ通報すること
- 航空会社は、タイ空港当局安全部門へ所定の報告書を提出すること

以 上